

おめでとう



筆者後列左より3人目

松田正義先生を偲ぶ

14年卒業 谷畑カミチ

平成七年、先生は日本で唯一の国語の賞である「飯村出」賞を受けられました。

それは先生が三十年たで一筋に打込まれた方言の研究が認められたからです。情熱、努力、執念の人、これが私達の恩師「松田正義」先生です。お蔭様で私達は日本一の先生の教え子となった事になります。

思えば五年前、卒業五十年の記念として、クラス有志大挙(約十名)して大分の先生宅をお訪ね致しました。

何十年振りで御健康な先生におめにかかり、湯布岳をのぞむ別荘の一室で、又阿蘇山の山頂近くのホテルで夜の更けるのも忘れて、伺った先生の若き日よりの来し方のお話しも大変感銘をうけました。

迎えます。私達の残り少ない最後の生きざまに先生のお言葉がどんなに心強いささとなることでしょうか。又先生の御仕事として忘れてならないのは、私達女子も夜の専門学校をと狂気の様に言われながら、持ち前の情熱でなして下さいました。又ユーモア溢れる若き日の授業も何より心に残っております。



筆者左より1人目

私達のクラス会の名前である。毎年開催されるようになってからなるべく出席

なでして33歳

34年卒業 鈴木富夫

しているが、メンバーが固定してきたみたいだ。それでも元気な顔を見ると嬉しい。あと何回廻られるかわからないが健康で長生きしたい。寝たきりでは生きている意味がない。延命治



人生を支えてくれた青春

18年卒業 増田数江

失恋のあけく、不本意な結婚をして、逃げるように米国に渡った私でしたが、ご都合主義の結婚は天罰の面、不幸の連続の果て、離婚とお決まりの道でした。でも頑張りぬきました!!

松田先生と議論した漱石の心理描写を語り、田町駅迄の道程を短かしく悔やみながら通ったあの頃の充実した日々がどんなに懐かし、生きる支えになったことでしょうか。松田先生からは情

寮はお断りである。平成九年二月恩師の中村先生が永眠されました。御冥福をお祈りします。高校時代を思い出出すと、

白対抗だったのに学年対抗では上級生が強いと信じていた。はっきりと順位は覚えていないが、三年生が一位を獲得したと思う。



思い出

49年卒業 小池久美子

私は新潟で働きながら、准看学校に通い資格を取得し四十六年に上京し隣りの病院に勤務しながら三田高校に二年から編入しました。働きながらの高校生活でしたが、同じような環境のクラスメートも多く苦痛ではなく楽しい日々でした。

ニスを続けられたことは、担当だった高尾先生のおかげと感謝しています。後で同級生に、高尾先生は、下手でも、頑張っている子には、良い点数をくれるんだと聞いた時は、思わず苦笑してしまつた事を思い出します。

その当時、私は新潟で一緒に働いた同僚より、高校に行く事とお礼奉公という名のもとに勤務先より許可されないと話を聞き、自分が一杯勉強しなければと思う日々だったように思い出されます。その後、看護学校に入學し正看護婦の資格を取



現在は病院に勤務し、四人の母として忙しい日々を送っています。東京へは時折行くのですが、ビルが年々多くなっているのには驚いています。末筆となりますが、青葉会の運営に携わってくださっている皆様に深く感謝申し上げます。



いつも今が一番しあわせ

55年卒業 佐々木光江

進委員、港区体育指導員、白金台児童館で月二回なごなな教室を開いています。いじめやこころの大切さが忘れられている昨今、武道を通して少しでも人さまの役に立てればとおぼさんは頑張っています。